



埼玉医科大学 総合医療センターニュース

SAITAMA MEDICAL CENTER NEWS

NO. **59**

2022
March



CONTENTS

ご紹介

- プレστοケア科…………… 教授 北條 隆 P-2
- 耳鼻咽喉科…………… 教授 菊池 茂 P-3
- 皮膚科…………… 講師 人見勝博 P-4

トピックス

- 大野元裕埼玉県知事が表敬訪問されました…………… 総務課 P-5
- 新型コロナウイルスの最新治療と診療事情…………… 総合診療内科・感染症科 教授 岡 秀昭 P-7
- 肺がん・縦隔腫瘍に対するロボット支援下手術…………… 呼吸器外科 助教 青木 耕平 P-8
- 当センターの看護部職員 3 名が表彰されました…………… P-10
- 管理栄養士のお仕事紹介～褥瘡対策チームでの活動～…………… 栄養部 P-11

教室

- 2022 年 じん臓病教室…………… チームそらまめ P-12

連載

- 医療被ばく低減施設認定を取得しました…………… 中央放射線部 P-15
- Free Wi-Fi 使用上の注意事項…………… P-16
- Hope LifeMark - コンシェルジュの登録 …… P-17
- 外来受診について / 面会者へのお願い…………… P-18

(社)小江戸川越観光協会

社小江戸川越観光協会



基本理念

安全で質の高い医療を提供し、
地域から信頼される医療機関を目指します。

ブレストケア科

教授 北條 隆

乳がんの罹患率は年々増加傾向にあり、年間約10万人（上皮内癌を含む）*1が乳がん罹患し、女性でのがんの罹患率は第1位です（表1）。女性の約10人に一人が罹患することになり、罹患のピークは閉経期である40歳代後半と60歳代後半の二峰性となっており、若年の乳がん患者も多く存在しております。そして、埼玉医科大学総合医療センターのある川越及び周辺地域においても多くの方が罹患しており、当院でも対応しております。

*1：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

当科の特徴：通常の乳癌診療に加え下記にも対応しております。

・AYA（Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人：15歳～39歳））世代患者への対応：AYA世代は就学・就職・結婚・出産・育児・親の介護等様々なライフイベントがある時期であり、AYA世代でのがんの罹患や治療は心身に大きな影響を与えます。近年はがん医療の進歩によりAYA世代のがん患者も予後は改善しつつある中、各患者の病状やライフステージに対応した多様な支援も行っております。その中で、乳がん患者に対する妊孕性温存は当院で特に力を入れて取り組んでおり、当院の産婦人科と密な連携をとりながら妊孕性温存しながらの医療を行っております。

高齢者への対応：当院でも多くの高齢がん患者に対して治療を行っております。高齢がん患者は非高齢がん患者と違い、加齢によるDNA障害で発がん率が高く、臓器機能の低下や複数の併存疾患や認知症等の生物学的変化や通院困難や栄養不良や定時での服薬が困難などの問題もかかえていることがあります。それらに対しては、全ての科がそろっているため、様々な併存疾患への対応や合併症を持った患者に対して対応が可能であり、社会的問題に対しても多職種チームで対応しております。

ブレストケア科のメンバーは2020年8月より大幅に変更しております。

2021年度は常勤スタッフとして乳腺外科の北條と荒井、腫瘍内科は松田が中心となり臨床、研究、教育を行っております。今後は診療のみならず研究分野の充実を図っていくつもりです。

診療・治療に関するご相談等がございましたら、ブレストケア科外来（049-228-3636）までご連絡ください。

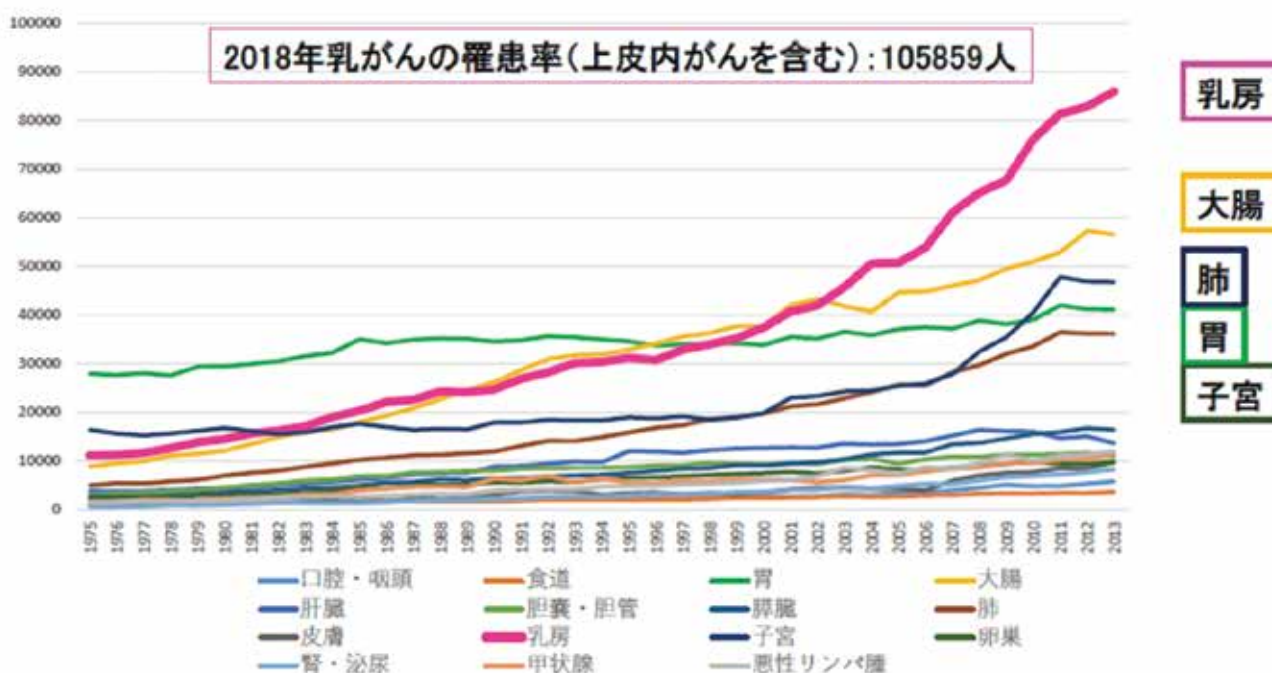


表1 がん種別(女性)罹患割合の動向
(国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)より)

耳鼻咽喉科

教授 菊地 茂

【はじめに】

耳鼻咽喉科では、脳と眼と歯を除く頸から上のすべての部位を取り扱います。具体的には、耳、鼻、のど（咽頭、喉頭）から唾液腺（耳下腺、顎下腺）や甲状腺などの頭頸部領域まで幅広く診療しています。また、耳鼻咽喉科では聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚などの感覚を扱い、音声、言語、摂食、嚥下などの機能を扱います。以下、耳鼻咽喉科のおもな病気に対する当科の取り組みをご紹介します。

【耳の病気】

鼓膜に孔が開き耳漏と難聴をきたす慢性中耳炎や、中耳・内耳の構造物を破壊してめまいや顔面麻痺などの合併症を来す可能性がある真珠腫性中耳炎に対しては鼓室形成術を、鼓膜の内側に水がたまる滲出性中耳炎に対しては鼓膜チューブ留置術を行っています。両側高度難聴の方には人工内耳埋め込み術を行い、軽度から中等度難聴の方で補聴器の適応となる方には毎週火曜日の午後に補聴外来を行っています。補聴外来では医師、聴覚技師、補聴器業者が連携し、補聴器適合検査、聴力検査などを行って補聴効果の評価や補聴器の調整をします（保険診療）。また、突発性難聴や顔面神経麻痺に対してはおもに副腎皮質ステロイドを中心とする薬物療法を行っています。内耳性のめまいに対しては薬物療法のほかに、良性発作性頭位めまい症に対する理学療法、難治性メニエール病に対する内リンパ嚢開放術も行っています。

【鼻の病気】

花粉症や通年性のアレルギー性鼻炎に対しては、一般的な薬物療法のほかに鼻づまりに有効なレーザー手術（日帰り手術）や、根本的な体質改善をめざす舌下免疫療法も行っています。免疫療法とは体内に病気の原因となるアレルゲンを徐々に投与し、体質改善を目指す治療法です。舌下免疫療法は現在、スギとダニに対する薬が使用できます。月に1回の通院を3年以上行う必要がありますが、治癒または長期寛解を期待したい患者さんにはお勧めしたい治療法です。慢性副鼻腔炎に対しては内視鏡を用いた鼻・副鼻腔手術を行っていますので、昔の副鼻腔手術と比較して顔が腫れずに苦痛が大幅に減少しています。最近では難病にも指定されている難治性の好酸球性副鼻腔炎が多くなっていますが、内視鏡下鼻・副鼻腔手術に加えて、鼻茸を縮小させるデュプリマブという分子標的薬を組み合わせることにより治療

成績が向上しています。さらに手術の際にナビゲーションシステムを導入することにより、比較的難しい前頭洞手術なども安全に行うことができるようになりました。

【のどの病気】

アデノイド増殖症、慢性扁桃炎、扁桃肥大を伴う睡眠時無呼吸症候群に対しては、アデノイド切除術、扁桃摘出術を行い、声帯ポリープなどの音声障害に対しては顕微鏡を用いた音声機能改善手術を行っています。急速に進む高齢化社会において嚥下障害でお困りの患者さんが増えてまいりました。リハビリテーションや保存的治療で改善しない症例では、嚥下機能改善手術を積極的に行っております。

【頸部の病気】

頭頸部の腫瘍のうち、鼻、のど、耳下腺、顎下腺、甲状腺の良性腫瘍については積極的に手術を行っています。早期の喉頭がんに対しては外来通院で放射線治療を行っていますが、鼻やのどの進行がんの場合で、再建手術が必要な場合、化学放射線療法の対象となる場合には、国際医療センター頭頸部腫瘍科と連携して、検査や治療を進めております。

【おわりに】

医療の進歩により、様々な治療手段を提供できる時代になってきました。当科では画一的な治療法にとらわれず、患者さんのニーズにお応えできるように様々な治療法を提案するように努めておりますので、是非ご希望を遠慮なく担当医にお伝えください。



※写真撮影のため一時的にマスクを外しています。

皮膚科

講師 人見 勝博

当科は、当院が竣工した1985年の7月から診療を開始しました。当初は、慶応大学から招聘した北村啓次郎初代教授の下、わずか医局員3名での立ち上げでした。しかし現在は、日本皮膚科学会認定専門医6名を含む総勢12名の医局員を擁する埼玉県の有力な皮膚科学教室の一つです。既に当科で臨床経験を積んだ医師が100名を超え、それぞれが関東圏を中心に活躍しております。2015年に同門会を設立しました。2016年に伊崎誠一 二代目教授（2002年に就任）から当科を引き継ぎ、福田知雄 現教授は三代目にあたります。福田教授も慶応大学出身で、慶応大学皮膚科と難病診療や若手医師育成に関して協力関係にあります。

皮膚科は、皮膚や粘膜、毛、爪に変化が生じるすべての疾患を診る診療科です。具体的には湿疹・皮膚炎、感染症、脱毛症、自己免疫疾患、アレルギー、悪性腫瘍などの難治性疾患等があります。悪性腫瘍に対しては手術や化学療法も当科で行っております。また、目には映らない内臓疾患や全身性疾患に関連して生じる皮疹もあり、総合病院という強みを生かし、他の診療科との連携が必要な治療も行っております。

当院は、開業医や市中病院では手に負えない疾患を抱えた患者を請け負い、最先端の医療を提供する中核病院の一つです。当科の外来診療では、午前中は初診を含めた一般外来、午後には日帰り手術のほか、乾癬・アレルギー疾患・悪性腫瘍・巻き爪に対する特殊外来を開設しております。入院治療が必要な疾患も積極的に受け入れており、さまざまな皮膚疾患に対応しております（表参照）。医療は日進月歩であり、常に新しい検査や治療を来院患者に提供できるよう努めております。特に悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害薬、重症アトピー性皮膚炎や乾癬、蕁麻疹に対する分子標的薬は進歩が著しい分野です。

臨床研究にも力を入れており、日常診療から得た新しい知見を学会や学術誌を介して積極的に発信しております。教育機関として医学生や若手医師に研修の場を提供することも当院の使命です。当科でも上級医の指導の下、若者の実臨床研修を行っているほか、毎週症例検討会を開き難病の診断や治療方針を医局員全員で話し合っております。

今後も臨床・研究・教育の3本柱を担う大学病院としての使命を果たすべく努力してまいります。

表・2019年度 当院皮膚科入院患者の内訳

| 疾患カテゴリー | 病名 | 症例数 |
|-----------------------|-----------------------------------|-----|
| 自己免疫性水疱症 | 天疱瘡 | 17 |
| | 類天疱瘡 | 27 |
| | その他 | 1 |
| 膠原病 血管炎 全身性炎症疾患 | 全身性エリテマトーデス | 0 |
| | 関節リウマチ | 1 |
| | その他（サルコイドーシス・皮膚筋炎など） | 12 |
| | アナフィラクトイド紫斑 | 7 |
| | リベド血管炎 | 1 |
| | 不明の循環障害 および皮膚潰瘍 | 5 |
| | | |
| 湿疹・皮膚炎 | アトピー性皮膚炎 | 3 |
| | その他 | 7 |
| 紅皮症 蕁麻疹 紅斑症 | 紅皮症 | 4 |
| | 多形滲出性紅斑 | 5 |
| | 結節性紅斑 | 1 |
| | 蕁麻疹 | 2 |
| | その他（スイート病など） | 1 |
| 細菌感染症 | 丹毒 | 3 |
| | 蜂窩織炎 | 35 |
| | その他 | 7 |
| ウイルス感染症 | 麻疹 | 0 |
| | 水痘 | 3 |
| | カポジ水痘様発疹症 | 0 |
| | 帯状疱疹 | 24 |
| | その他 | 2 |
| 中毒疹・薬疹 | Stevens-Johnson 症候群 中毒性表皮壊死融解症 | 1 |
| | 薬剤過敏性症候群 | 2 |
| | アナフィラキシー | 0 |
| | その他の中毒疹・薬疹 | 8 |
| 乾癬・膿疱症 | | 4 |
| 腫瘍 | 悪性黒色腫 | 30 |
| | 乳房外パジェット病 | 6 |
| | 有棘細胞癌 | 14 |
| | ボーエン病 | 7 |
| | 基底細胞癌 | 17 |
| | その他の上皮系悪性腫瘍 | 9 |
| | 悪性リンパ腫 | 2 |
| | その他の間葉系悪性腫瘍 | 1 |
| | 色素性母斑 | 0 |
| | 脂腺母斑 | 3 |
| | 脂肪腫 | 21 |
| その他の良性腫瘍 | 26 | |
| 代謝異常症 | ペラグラ | 0 |
| 毛髪疾患 | 全頭脱毛、円形脱毛 | 8 |
| その他 | | 2 |
| 合計 | | 329 |

大野元裕埼玉県知事が表敬訪問されました

総務課



※写真撮影のため一時的にマスクを外しています。

令和4年2月8日（火）、大野元裕埼玉県知事が埼玉医科大学総合医療センターを表敬訪問されました。

今回の来院は、新型コロナウイルス感染症禍のなか、献身的に医療現場で従事する職員への労いと激励、逼迫している救急医療の運用状況の現状把握を目的として実現したもので、大野知事は堤晴彦病院長をはじめ職員を代表して対応した主要役職者と懇談、その後、新型コロナウイルス感染症患者受入病棟（※ナースステーション：* 1 グリーンゾーン）と高度救命救急センターを視察されました。

また今回の来院の際、新型コロナウイルス感染症患者受入れの功績を評価され、埼玉県より当院に対して感謝パネルを贈呈していただきました。

懇談時の意見交換のなかで、大野知事からは「本当に大変な状況のなか、新型コロナウイルス感染症

患者の受入れと共に、一般医療と救急医療、周産期医療を止めることなく継続し、埼玉県の医療に貢献して頂いていることに感謝します。県としても支援していきたい」とのお言葉を頂き、その言葉に対して堤病院長は「行政、他の医療機関等とも協力し、これからも埼玉県の医療を支えていく」と力強く述べました。

当院は、全職員で一致団結し、大野知事の暖かいお言葉も支えに、今後も地域のみならず埼玉県の医療に貢献して参ります。

注 * 1 グリーンゾーン…
通常業務を行う清潔区域



医療従事者の皆様のご尽力に感謝申し上げます

埼玉県では、「医療・介護従事者の皆様に感謝の気持ちを伝えるキャンペーン」を実施してきました。県民の皆様からお預かりした感謝メッセージをお届けします。

The collage features numerous individual and group photos of healthcare workers, many holding certificates of appreciation. Interspersed among the photos are handwritten letters and printed messages, all expressing heartfelt thanks for the staff's hard work and dedication. A large, stylized 'THANK YOU' graphic is placed centrally within the collage. The overall theme is one of collective gratitude and recognition for the medical and nursing professions.

彩の国  埼玉県

埼玉県より贈呈されました感謝パネルは、外来用エレベーター前（1階）に飾らせていただきました。是非ご覧ください。

新型コロナウイルスの最新治療と診療事情

総合診療内科・感染症科 教授 岡 秀昭

当院は、新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定され、埼玉県からの要請により段階的に受入れ病床を増やし、現在44床(超重症1床、重症12床、中等症31床)の新型コロナウイルス感染症患者受入れ病床を有しております。

新型コロナウイルス感染症については、昨年10月の時点で終息傾向にあり、一旦の落ち着きを取り戻しつつありましたが、年末年始辺りから、新変異株であるオミクロン株が出現し、一筋縄ではいかないことを実感しています。

第4波では、当院に入院となった新型コロナウイルス感染症重症患者さんをほぼ救命することができました。しかし第5波では、新型コロナウイルス感染症患者さんがさらに増加し、重症患者さんも増え、確保病床の限界までスタッフを配置して対応しましたが、約2%の患者さんを救命することができませんでした。

第5波で見たことは、重症者のほとんどがワクチン未接種の方であったこと、稀にワクチン接種をしてもその効果が得られないかなり重篤な持病を持つ方だったということでした。この結果から短期間でこれだけ有効なワクチンを開発できたことは、歴史に残る科学の快挙だと思います。

また、これまでは重症化してしまった場合、デキサメタゾンというステロイドホルモン剤の投与が死亡率を下げる数少ない治療でしたが、第5波の途中から使用できるようになったモノクローナル抗体の治療薬は、重症化リスクのある患者さんに早く投与することで、重症化率を7割下げることが期待されます。現在では2種類のモノクローナル抗体薬が承認されていますが、先に使用可能となった2種類の抗体をカクテルしたロナプリーブは抗体カクテル療法と呼ばれ、一定の重症化を防ぐ効果を実感しまし



た。ロナプリーブは、専門家のいる総合病院で点滴により投与することができます。今後は皮下注射という予防注射の方法で、かかりつけ医や在宅診療でも投与できることとなっており、2つの飲み薬の新薬もまもなく使用できる見込みです。1つはアメリカのメルク社が開発したモルヌピラビルという薬で、ウイルスの遺伝子が複製するのを防ぎ、子孫を残さないようにして効く薬、もう1つはファイザー社が創製したプロテアーゼというウイルスの骨格を作るタンパク質の生成を抑制し、ウイルスを不活化させる抗ウイルス薬です。どちらの飲み薬も重症化リスクのある患者さんの重症化率を下げる効果が報告されていますが、ワクチンよりも高価なものです。内服薬については、まだ未知の副作用と使用し続けるうちに薬が効かなくなる耐性化が起きる心配があります。しかしながら、有効なワクチン・治療薬が揃ってきたことから、新型コロナウイルスに対する人類の武器は確実に増えており、医療の状況は明らかに進歩しているのです。

ただ1つの武器に頼るのではなく、ワクチン、治療薬の役割を理解し、賢く使っていくことが大切です。故に、特に重症化リスクの高い持病のある方は可能な限りワクチン接種を済ませて、機会が来たら3回目の接種もぜひ受けて今後の流行に備えていただきたいと思います。もちろん今のところ、基本的な感染予防策を続けることも大切です。それでも残念ながら感染してしまった場合には重症化を防ぐ薬剤があります。重症化してしまった場合にはステロイド剤などを投与して治療することができるのです。ウイルスとの長い戦いのトンネルの出口は少しずつ見えてきていると考えます。



肺がん・縦隔腫瘍に対するロボット支援下手術

呼吸器外科 助教 青木 耕平

はじめに

当科では、胸部（肺、縦隔、気管）腫瘍性疾患、気胸、炎症性・感染性疾患（非結核性抗酸菌症、アスペルギローマ、膿胸）などの外科治療を担当しています。2020年12月より、手術支援ロボット『ダヴィンチ Xi（インテュイティブサージカル社）』を用いた肺がん・縦隔腫瘍に対する『ロボット支援下手術』を開始しましたので、ご紹介します。

従来肺がん手術について

ひと昔前までは肺がんの手術は開胸手術がほとんどでした。これは側胸部を15cm以上切開して肺を切除するもので、筋肉の損傷も大きく、治療のためやむを得ないとはいえ、患者さんには負担でした。その後、低侵襲手術として登場したのが『胸腔鏡（きょうくうきょう）手術』です。腹部手術で使用する腹腔鏡（ふくくうきょう）については聞いたことがあるかもしれませんが、胸部の手術の場合は胸腔鏡と呼ばれる細長いカメラを使用します。患者さんの身体を大きく切開する代わりに、小さな孔を数か所あけて、胸腔鏡と細長い鉗子（かんし）という道具を体内に挿入します。外科医はカメラの映像をモニター画面で確認しながら肺を切除して取り出します。創が小さいので、痛みが少ない、筋肉の損傷が少ない、

手術後の回復が早いなどのメリットがあります。一方、細長い直線的な道具しか使用できない、2次元のモニター画面をみながらの手術であるため遠近感がつかみにくいなどのデメリットもあり、技術や経験が必要な手術です。当科ではおよそ10年前から完全胸腔鏡手術を導入しており、現在では肺がん手術の8割以上を胸腔鏡手術で行っています。



ダヴィンチ Xi のアームとカメラ、鉗子



ダヴィンチ Xi のペイシェントカート
(インテュイティブサージカル社 HP より)

肺がんのロボット支援下手術について

近年注目されているロボット支援下手術は胸腔鏡手術のひとつです。小さな孔を数か所あけるという点は従来の胸腔鏡手術と同じですが、異なる点は外科医がロボットを操作して手術を行うということです。外科医はコクピットのような座席に座って、モニターを見ながらロボットの鉗子を操作します。どのようなメリットがあるかということ、まず体内に挿入したロボットの鉗子には複数の関節があり、コンピューターが外科医の細やかな手の動きを忠実に伝え、自由度が高い、精密な手術操作ができます。またロボットのカメラを用いることによって、3次元モニターで術野を立体的に拡大してみられるため、細部の手術が正確に行えます。まるで患者さんの体内に入って手術しているかのように感じるほど視界が良好です。さらに座って手術ができることや、手ブレ防止機能によって外科医の負担を軽減し、長時間高い集中力を必要とする手術の正確性を高めます。これらの先端技術・機能を外科医が駆使することに

よって、従来の手術と同等かより少ない負担で、従来以上の精密な手術ができる可能性があるのです。

安全性についてですが、ロボット支援下肺がん・縦隔腫瘍手術は十分な訓練を経て認定を受けた呼吸器外科専門医のみが行うことができ、器械自体にも正常な動作を維持する機能が数多く備わっています。手術に携わるスタッフも訓練を積み、徹底した安全管理の元に行われます。

当科のロボット支援下手術

当科では2021年11月現在までに、およそ30人の患者さんのロボット支援下手術を行いました。もちろん皆さんが良好な経過でお元気に退院されました。ロボット支援下手術の執刀をすることができる医師は3人在籍しています。今後ロボット支援下手術の件数は増えていくと考えられます。

当科が担当するロボット支援下手術の適応がある疾患は、術式にもよりますが、肺悪性腫瘍（肺がん、転移性肺腫瘍など）、縦隔腫瘍、重症筋無力症です。ロボット支援下手術にも患者さんによって適否があります。詳しくお知りになりたい方は、担当医または呼吸器外科外来（049-228-3756）へご相談ください。



執刀医が操作を行うサージョンコンソール



ロボット支援下手術中の様子

「当センターの看護部職員3名が表彰されました」



※写真撮影のため一時的にマスクを外しています。

○母子保健家族計画事業功労者厚生労働大臣表彰

令和3年度健やか親子21全国大会の開催に合わせ、「母子保健事業又は家族計画事業の推進に永年従事し、著しい功績があった個人及び団体」に対する厚生労働大臣表彰があり、母子保健家族計画事業功労者として、当センター看護部副部長の谷島春江氏（写真中央）が受賞いたしました。

○医学教育等関係業務功労者文部科学大臣表彰

令和3年12月、当センター看護助手の岸美子氏（写真中央右）が、永年にわたり勤続し医学・歯学に関する教育研究又は患者診療等に係る業務への功労者として、文部科学大臣表彰を受賞いたしました。

○優良従業員表彰

令和3年11月、当センター看護助手の武藤香折氏（写真中央左）が、永年にわたり勤続し勤務成績が優秀かつ信望の厚い従業員として、一般社団法人川越地区労働基準協会より優良従業員表彰を受賞いたしました。

わたくしたちは、これからも皆様には選ばれる素敵な病院となるよう、患者さん中心の満足度の高い医療の提供を目指してまいります。



栄養管理士のお仕事紹介～褥瘡対策チームでの活動～

栄養部 川窪 さつき

管理栄養士は、褥瘡対策チームの褥瘡回診・カンファレンスに参加しています。

みなさん、褥瘡をご存じですか？

褥瘡（じょくそう）とは「床ずれ」とも呼ばれ、ベッドのマットや布団、車いすなどと接触する部分の皮膚が長い時間続けて圧迫されることで、皮膚や皮下組織、筋肉などの血流が滞り、酸素や栄養が行きわたらなくなるために傷ができてしまうことです。また、栄養不良の状態になってしまうことや、その低栄養による皮下脂肪組織の減少は、褥瘡発生のリスクを高めてしまいます。

褥瘡対策チームの多職種連携で褥瘡予防・治療の支援をしています

褥瘡回診のメンバーは、褥瘡対策委員会医師、褥瘡管理者、褥瘡対策専任看護師、褥瘡対策のリンクナース、薬剤師、理学療法士、管理栄養士です。褥瘡患者さんを対象に、週に1回、多職種によるカンファレンス・回診を行っています。褥瘡対策担当管理栄養士は、それぞれの病棟で担当する管理栄養士と患者の栄養の状態や食事摂取状況（栄養補給状況）、また褥瘡治療に対する栄養介入の状況について情報共有を行っています。その情報を踏まえ、多職種によるカンファレンス・回診を行い、再び担当の管理栄養士へフィードバックを行うことで病棟の栄養管理へと繋げています。今後も病棟の担当管理栄養士と連携し、褥瘡予防・治療の栄養支援を行っていくよう努めていきます。



※写真撮影のため一時的にマスクを外しています。

褥瘡の発生予防、褥瘡の発生後の全身管理には栄養管理（栄養療法）が大切です

栄養状態が低下している患者さんの「食べられない」ことの原因は、治療や薬の副作用がある、食事の形態や硬さが合わない、入れ歯の有無、治療のための安静指示があり思うように食べられない、活動

量の低下などです。食事が進まない理由を一つとっても、患者さん一人ひとり理由は様々です。そのような患者さんに管理栄養士が面談を行い、食事内容を調整しています。

図1【床ずれ予防の日の啓発ポスター】



「さあ、にぎやかにいただく」で予防しましょう！

みなさん、食事は1日3食きちんと摂れていますか。主食（ごはん）を抜いていませんか。お菓子で済ませていませんか。食事は1日3食規則正しく摂ることが基本です。ごはんやパン、めんに加えて、ポスター（図1）の「さあ、にぎやかにいただく」から7種類以上とりましょう。

ごはんは両手のひら大のお茶碗にしっかり1杯です。炭水化物はエネルギーの源として必要です。おかずは、【さ】【に】【た】【だ】からたんぱく質を、【や】【か】【い】からビタミン・ミネラルを、それに加えて【あ】から脂質、【き】からたんぱく質と脂質とカルシウム・リン・マグネシウムなどミネラルを、【く】からビタミンを主に補給します。このように多くの食品を摂ることは、筋肉量の低下や身体機能の低下の予防につながります。食事が整ったら、ウォーキングなどの運動も取り入れ、筋力維持・Upをすることで、褥瘡やロコモティブシンドロームを予防できます。

※「さあ、にぎやかにいただく」とは、東京都健康長寿医療センター研究所が開発した食品摂取多様性スコアを構成する10の食品群の頭文字をとったもので、ロコモチャレンジ！推進協議会が考案した合言葉です。

2022年 じん臓病教室

チームそらまめ

健康診断や人間ドックで「腎臓が悪い」と言われたら、皆さんは何を考えるでしょうか。日常生活で気を付けることは何か、どういった食事を摂ればよいのか、進行したらどうになってしまうのか…。どうしたらよいのか分からず放置してしまい、気づいた時には手遅れになっていたという場合も少なくありません。

腎臓は「沈黙の臓器」と言われ、もし腎臓病になったとしても初期から中期にかけては自覚症状がなく、気づかないまま病気が進んでしまいます。腎臓病が進行すると、透析治療が必要となるため、早期発見と早期治療が重要です。私達は、腎臓に不安を抱えている患者さんに、安全・安心・満足した治療が受けられるよう様々な支援を行っており、その一つである「じん臓病教室」の活動内容をご紹介します。

「じん臓病教室」は、腎臓病と診断されてから、透析導入になるまでの期間をできる限り長く保てるよう患者さんを支援することを目的としており、腎臓病と診断された患者さんとそのご家族、腎臓病を学びたい方、他院の医療スタッフなど様々な方が受講しています。

昨今の新型コロナウイルスの影響で、ここ数年は参加者が減少していますが、2003年の開講から2021年11月までの総受講者数は2080名で、2021年度は11月までに69名の方にご参加いただいています。

現在も、十分な感染症対策をとりながら「じん臓病教室」は活動を続けています。一人でも多くの方に受講していただき、腎臓病の進行を食い止めたいと考えていますので、腎臓病と言われた場合や腎臓病の疑いがあると言われた場合は、お気軽に腎・高血圧内科外来窓口までお問い合わせください。

*年間スケジュール*月1回 第3土曜日に開催

| 開催月 | 内容 | 講師 | 開催月 | 内容 | 講師 |
|-----|-------------|---------|-----------------------|-------------|--------|
| 5月 | 1. 腎臓の働きと病気 | 医師 | 11月 | 1. 食事療法のコツ | 管理栄養士 |
| | 2. 検査について | 臨床検査技師 | | 2. 腎不全の治療法 | 看護師 |
| | 3. 食塩のとり方 | 管理栄養士 | | 3. 薬の正しい飲み方 | 薬剤師 |
| 6月 | 1. 医療保険制度 | 医療福祉相談員 | 2月 | 1. 腎臓の働きと病気 | 医師 |
| | 2. 日常生活の注意点 | 看護師 | | 2. 検査について | 臨床検査技師 |
| | 3. 低たんぱく食 | 管理栄養士 | | 3. 食塩のとり方 | 管理栄養士 |
| 7月 | 1. 食事療法のコツ | 管理栄養士 | 3月 | 1. 腎臓の働きと病気 | 医師 |
| | 2. 腎不全の治療法 | 看護師 | | 2. 検査について | 臨床検査技師 |
| | 3. 薬の正しい飲み方 | 薬剤師 | | 3. 食塩のとり方 | 管理栄養士 |
| 9月 | 1. 腎臓の働きと病気 | 医師 | 4月 | 1. 食事療法のコツ | 管理栄養士 |
| | 2. 検査について | 臨床検査技師 | | 2. 腎不全の治療法 | 看護師 |
| | 3. 食塩のとり方 | 管理栄養士 | | 3. 薬の正しい飲み方 | 薬剤師 |
| 10月 | 1. 腎臓の働きと病気 | 医師 | 場所：小講堂（本館5階） | | |
| | 2. 検査について | 臨床検査技師 | 時間：9：00～11：00 | | |
| | 3. 食塩のとり方 | 管理栄養士 | 参加費：1,600円（税込）テキスト代含む | | |



「じん臓病教室」は、腎・高血圧内科医師・2階西病棟看護師・血液浄化センター看護師・薬剤師・管理栄養士・医務課職員・医療福祉相談員・臨床検査技師が“チームそらまめ”を結成し運営しています。“チームそらまめ”の由来は、じん臓はそらまめの形に似ていることと、患者さんが親しみやすく話しやすいをコンセプトに名付けられました。



「じん臓病教室」では、オリジナルテキストを用い受講者の皆様に腎臓病について学んでいただけます。講義の主な内容は、腎臓の働き、病気の特徴、薬の飲み方、日常生活の過ごし方、食事内容、社会資源の活用などです。理解しにくい治療や検査などは、“チームそらまめ”の各職種が専門性を発揮し、実演やクイズを取り入れ工夫を凝らしています。

「じん臓病教室」は、月1回行っており全3回で1つのクールが終了しますが、何度でも受講することが可能です。患者さんには、早期から腎臓病の正しい知識を得ていただき、慢性腎臓病の保存期を長く維持していけるよう支援しています。

じん臓病教室開催日程は下記の表を参照してください。

医師・病棟、血液浄化センター看護師・臨床検査技師

「じん臓病教室」では、外来で詳しくお話しできない腎臓の働きや検査の内容、腎不全期の日常生活の注意点などについて、医師と臨床検査技師、病棟看護師が丁寧に時間をかけて説明します。また、腎不全治療の話では、血液透析、腹膜透析、腎代替療法の説明を行い導入後の日常生活について情報提供していきます。腎移植などの在宅血液透析について血液浄化センター看護師が担当し情報を提供しています。

管理栄養士

腎臓病患者さんの治療では内服治療と同時に食事療法が重要となります。腎臓病の食事療法はCKD重症度分類や栄養状態、基礎疾患など、患者さん個々に合わせた栄養量の調整が必要となります。患者さんやその御家族は、食事をどのように準備したらよいか悩まれることが多いです。「じん臓病教室」では普段の食事の献立に食事療法が取り入れられるよう具体例を挙げながら講義を行い、さらに個別の栄養支援として個人栄養指導の受講にも繋がるようお話ししています。また第3回目の講義後には、実際に入院患者さんに提供している病院食を教室参加者に提供する食事体験を行っていました。コロナ禍を考慮して現在は休止していますが、病院食の写真を提示したり、特殊治療用食品の実物を手に取っていただいたりしながら、調理の工夫点や献立内容を解説しています。

腎臓病食の例

★動物性たんぱく質を選択し、質の良いたんぱく質を取り入れましょう



★マクトンオイルを使用してエネルギーアップ!!

薬剤師

腎臓病の治療で使うお薬はたくさん種類があります。みなさんは今飲んでいるお薬の用法用量をすべて言えますか？どんな薬を飲んでいるのか興味を持ち、またその効果がどんなものなのかを知ることはお薬を自己管理し、治療続けていくうえでとても大切です。「じん臓病教室」では、薬の特徴や用法、用量、内服タイミングなどについて説明し、お薬の理解を深めていただいています。代表的な腎臓病治療をスライドで紹介しながら、飲み方や管理の仕方などを解りやすく説明しています。また、お薬について日頃、不安に思っている疑問などに対して詳しく説明し、お薬の自己管理への支援を行っています。

事務部医務課職員・医療福祉相談員

透析治療が必要になった患者さんから、治療費の支払いや日常生活をどのように送れば良いかなどの不安や戸惑いを聞きます。

「じん臓病教室」では、医療制度の種類や受給資格、申請方法等を説明し、社会資源を有効に活用することを推奨しています。また、医療制度を利用した事例を紹介し、具体的な手続きについて説明します。

「じん臓病教室」終了後、参加者から個別に相談や質問を受けることもあり、その場で解決したり不安を取り除いたりしています。患者さんが安心して受療生活ができるよう支援しています。



「じん臓病教室」関係者
※写真撮影のため一時的にマスクを外しています。

おわりに

「じん臓病教室」を開設してもうすぐ20年目を迎えようとしています。腎臓病を患われた患者さんに健やかにお過ごしいただくために、正しく病気を理解して上手な管理ができるようにお役立ていただきたいという思いで支援をしてきました。この間も透析や移植を必要とする患者さんも多くいらっしゃいましたが、「じん臓病教室」を受けたことで安心して治療を受けることができましたとお褒めいただくこともあり、「チームそらまめ」はとても嬉しく思い、更なる努力をしていこうと思っています。今後も患者さんやご家族の方々から様々なご意見を伺いながら、少しでも患者さんに寄り添える教室運営を目指していきたいと思ひます。



～受講者様からの声～

毎回腎臓病教室では、教室運営の改善のため、受講者様にアンケートを記入していただいています。受講者の皆様の声が運営の励みとなっております。以下に患者様からのご意見・ご感想を抜粋して掲載させていただきます。興味はあるけれど、参加を迷っている方はぜひ、受講者様の生の声を参考にしてみてください。

○腎臓の働きと病気

- ・外来で聞きそびれてしまったことを説明して頂き分かりやすかった。
- ・慢性腎臓病に関してあまり考えることが無かったので、参考になりました。

○検査について

- ・自分で尿検査出来る方法もあることを知り、血液検査の説明が分かりやすかったです。

○食塩の取り方

- ・献立の具体的な例を挙げていただきわかりやすかったです。
- ・減塩のポイントがよくわかりました。
- ・毎日の何気ない食事で、どうしても味が濃くなっていることと思います。インスタント食品を上手く使うこと、参考になります。

○食事療法のコツ

- ・1日三食毎日のことですので非常に参考になりました。
- ・テキストもわかりやすい。家に帰ってまた勉強したい。

○腎不全の治療法

- ・透析の種類を再確認できた。
- ・私生活で大きく影響するので注意したい。

○薬の正しい飲み方

- ・薬の説明は個別に受けることがありませんので参考になりました。
- ・わかりやすく薬の種類が把握できた。

○医療保険制度

- ・知らない制度がたくさんあったので、教室に来てよかったです。

○日常生活の注意点

- ・毎日、血圧と体重を測定しようと思いました。

○低たんぱく質

- ・毎日のことなので今の状態を見直す＆改めるといった点でとても有意義でした。献立の作り方のポイントが分かりやすかったです。
- ・調味料などのことも聞けたので良かったです。

○腎臓病教室へのご意見ご要望

- ・食事のメニュー表（献立）を頂いてとてもありがたかったです。
- ・腎臓病について、留意事項や検査、食事など広範囲にお話があり、大変為になりました。自分の症状に応じた生活をしていきたいと改めて思いました。ありがとうございました。

医療被ばく低減施設認定を取得しました

中央放射線部



透視検査

透視検査は、バリウムなどの造影剤を使用して、臓器の形態や動きをリアルタイムで映像として観察することができます。胃や大腸などの消化管疾患の診断や、内視鏡を進めることのできない狭い部位の観察や治療などを行っています。また、骨折や脱臼の整復など様々な処置や治療の補助としても用いられます。

2021年2月に装置が更新されました。平面検出器（FPD：Flat Panel Detector）が搭載され、従来の装置と比べて高画質でありながら、より少ない被ばく線量での検査が可能となりました。



透視装置



尿管ステント留置



大腸バリウム検査

よくあるご質問

Q.妊娠中の放射線被ばくって大丈夫ですか？

A. 胎児への放射線の影響には「しきい値」と言われる線量があり、100mGyとなります。「しきい値」にあたる放射線量を被ばくした場合、胎児の1～5%に影響が表れると言われています。

| 検査による主な被ばく線量 | |
|--------------|---------------|
| 胸部X線撮影 | 0.06mGy |
| 上部消化管検査 | 3.0mGy |
| CT撮影 | 5.0～30mGy |
| 核医学検査 | 0.5～15mGy |
| PET検査 | 2.0～10mGy |
| 歯科撮影 | 0.002～0.01mGy |

主要な検査で100mGyを超えることは稀です。
不安な場合は依頼科の医師にご相談ください。



編集後記

放射線は農業、工業、教育、研究などさまざまな分野で利用されていますが、はじまりは医学分野であったそうです。日々発展していますが、安全な検査・治療ができるように努めて参ります。

Free Wi-Fi 使用上の注意事項

- * 利用規約を必ずご確認ください。
- * 院内のすべての場所で使用できるものではありません。
- * 有線 LAN 等での接続は出来ません。
- * ベストエフォートでの提供となりますので、通信速度、品質についての保証は致しません。
- * お子さまも安心してご利用頂けるよう望ましくないと当院が判断するサイト等へのアクセスを制限することがあります。
- * 利用者がインターネット上で利用した有料サービスは、利用者自身のご負担になります。
- * 機器の設定や操作はご自身でお願いいたします。職員への技術的な質問はご遠慮ください。
- * ご持参いただいたすべての機器でご利用いただけることを保証するものではありません。機器の仕様によってはご利用いただけないこともありますのでご了承ください。

- * 機器の貸し出しは行っておりません。
- * ご利用に際しては、他の病院利用者に迷惑がかからないようご配慮ください。
- * 治療・療養に影響のない範囲でご利用ください。医師や看護師等から利用を中止する指示があった場合は、その指示に従ってください。
- * 当院は利用の際に生じたトラブル・損害等について、一切責任を負いません。
- * インターネット利用記録を保存しております。検索機関からの照会があった場合などに利用記録を提出することがありますのでご了承ください。





Free Wi-Fi

SSID: **smu-wifi**

パスワード: **saitamaidai**

※QRコードからでも接続できます
QRコードをスキャンして、ネットワーク「smu-wifi」に接続してください。

ご利用の際は、利用規約に同意いただいた上で、自己責任において、他の方の迷惑にならないよう、マナーを守ってご利用ください。

STEP 1 [smu-wifi]を選択
お持ちのスマートフォン等のWi-FiをONにしてください。ネットワーク一覧から「smu-wifi」を選択し、パスワード「saitamaidai」を入力してください。

STEP 2 利用規約の同意
利用規約画面が表示されます。同意の上ご利用ください。画面が表示されない場合はブラウザを起動してください。

50th ANNIVERSARY 埼玉医科大学 総合医療センター

LifeMark - コンシェルジュ



**スマートフォン用アプリ
サービス開始**
2021.5.24

アプリをインストールして
通院でのストレスを軽減

- ❖ 診察状況お知らせ
診察順番が近づいたらメッセージでお知らせ
- ❖ アラートリマインド
診察の前日に予約情報をお知らせ
- ❖ 予約情報確認
予約情報をアプリ上で確認
- ❖ 病院情報コンテンツ
病院ホームページの確認

詳細については、各受付窓口でパンフレットを配布しております。
お気軽にお声がけください。

※利用する際は、スマートフォンにアプリのインストールが必要です。
※現在、病院内の通信環境を整備中です。アプリご使用の際は、通信環境が良いところでご利用ください。


※AppleおよびAppleロゴは、Apple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※Google Play およびGoogle Play ロゴは、Google LLCの商標です。

埼玉医科大学総合医療センター

※登録方法については P.17 をご参照ください。

HOPE LifeMark - コンシェルジュの登録

HOPE LifeMark-コンシェルジュ

はじめの登録ご利用案内

スマートフォンで
通院を便利に!

まずはアプリをインストール!



※本アプリはタブレットには対応しておりません。
※AppleおよびAppleロゴは、Apple Inc.の商標です。AppStoreはApple Inc.のサービスマークです。
※Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

HOPE コンシェルジュ

検索

利用者と医療機関の登録

⚠️ こちらの手続きはネットワーク環境の良いエリアで行う必要があります。

登録開始
Start



1 「初回の方はこちら」をタップします。



2 「次へ」をタップします。



3 病院スタッフから受け取ったQRコードを読み取ります。



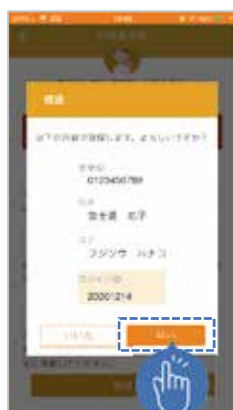
4 ご自身の情報に間違いがないことを確認し、「次へ」をタップします。



5 利用規約への同意が必要です。



6 必要事項を入力し「登録」をタップします。



7 登録する内容を確認し、「はい」をタップします。



8 登録完了です。「OK」をタップすると、ログイン画面へ移動します。*1

登録完了
Finished

同意いただく規約は、アプリケーション利用と医療機関登録の2種類あります。

登録したログインIDとパスワードは、サービスログイン時に必要です。

*1 ログインから24時間経つと自動的にログアウトします。ログイン状態を保持するにはログイン画面の「ログイン状態を保持する」にチェックを付けてログインします。

※登録方法などご不明な点がございましたら、総合案内または各科外来窓口へお声がけください。

外来受診について

初めての方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
- * 診療時間 9:00 ～ 17:00

再来の方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
(予約の方を除く)

予約以外の11時以降の受付はありません。

初めての方、再来の方も午後まで診療を行っておりますが11時以降の受付はできません。(再来で予約のある方を除く)また、診療科や曜日によって受付できない場合もあります。

面会者へのお願い

当院では当面の間、感染防止対策のため原則、面会禁止とさせていただきます。

アクセス

電車

- 池袋より東武東上線・東京メトロ有楽町線 30分
川越駅下車
 - 西武新宿駅より西武新宿線 60分
本川越駅下車
 - 大宮駅よりJR埼京線 20分
川越駅下車
 - 大宮駅よりJR高崎線 9分
上尾駅下車
- ※下車後、バスまたはタクシーでおいでください。

バス

- 川越駅東口より東武バス
(上尾駅西口・平方・埼玉医大・川越運動公園行き)
(25分) 埼玉医大総合医療センター下車
- JR高崎線上尾駅西口より東武バス(川越駅行き)
(20分) 埼玉医大総合医療センター下車
- 市内循環バス「川越シャトル」40系統42系統43系統

車

- 関越自動車道川越インターより8km、約15分
- 県道51号線(川越上尾線)沿い

* 医務課からのお願い *

当院では受診の際、毎回「保険証」の確認をさせていただいております。

保険の資格喪失や有効期限等による誤った保険請求を防止するため、ご協力の程、よろしくお願いいたします。また、緊急時に当院よりご連絡させていただく際、お届けいただいている連絡先が変更となっていることがあります。連絡先に変更があった場合には、お申し出ください。



表紙写真：連馨寺(川越)

編集後記

寒さの中にも、春の訪れを感じる頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今回は、川越市でもよく知られている連馨寺を表紙に選ばせていただきました。

連馨寺は室町時代に創建された歴史ある浄土宗のお寺です。川越城主の母、連馨大姉が安らぎの場を民衆にもたすべく建てた寺で、庶民の寺として親しまれてきました。境内の呑龍堂前に鎮座する「おびんずる様」は触ると病気が治る仏として広く親しまれています。また、小江戸川越七福神の第五霊場として「福祿寿神」が祀られ、人々を幸福へと導く神として参詣される方が多いようです。昨今コロナウイルスが蔓延しておりますが、感染予防の徹底をしつつ、機会があれば訪れてみてはいかがでしょうか。

編集員

埼玉医科大学総合医療センターニュース 第59号

- 発行年月日 令和4年3月末日
- 発行 埼玉医科大学総合医療センター
- 発行責任者 病院長 堤 晴彦
- 連絡先 医療センターニュース編集局(医務課内)
- 印刷 ヨーコー印刷(株)